

第62話 **ibstpi[®]**とIDコンピテンシー改訂作業のゆくえ

- 「ibstpi[®]」にはまだ日本語訳がない: The International Board of Standards for Training, Performance and Instruction <http://www.ibstpi.org/>
- ibstpi[®]はAECTとISPIが1977年に作ったWG(1984に独立) 定義と例
- **使命**は教育専門家の地位向上、やることは**コンピテンシー**の策定と普及
- **15名枠の理事**で構成(会員はいないが**ユーザは世界中**)、月1回の電話会議十年2-3回の対面会議(2007年鈴木理事就任、3年任期で3回まで、不在理由の一つ)
- **関連コンピテンシーなどが財産**: ID(2000) + インストラクタ(2004) + 研修管理者(2003) + 評価者(2008) + オンライン学習者OLL(2010?) + **開発モデル**
- 日本でのプレゼンス: 2008.3理事会開催、理事2人(鈴木+Jung)
 - **JSISHとの連携**、各種調査の日本語版での実施、ユーザ発掘
- 目下の取り組みは**組織の立て直し**
 - (ユーザネットワークと料金徴収システム構築中: 鈴木「出納役」に就任)
 - + IDコンピテンシー改訂(JSETで**日本語調査結果報告**予定)
 - + OLLコンピテンシー提案(IRBで苦戦中; 調査協力をお願いの予定)えせが多いので重要視



ミッション

- The mission of ibstpi® is to *develop, validate and promote* implementation of international standards to advance *training, instruction, learning and performance improvement*



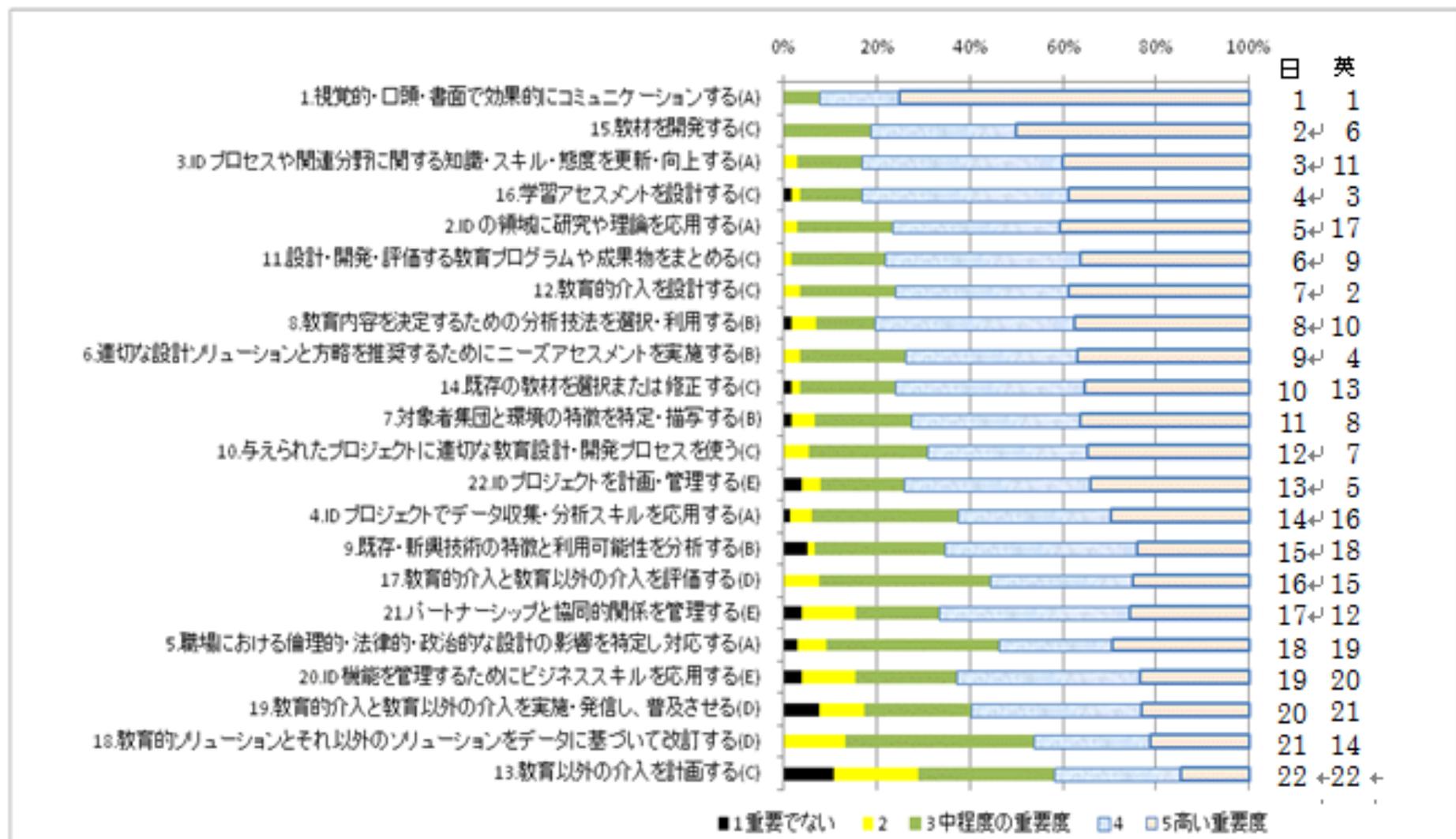


図 1：インストラクショナルデザイン・コンピテンシーの重要度評価（日本語版調査、N=51~65）

注：重要度の平均得点順に並べ替えたもの。左端の数字は、調査時のコンピテンシー番号を示す。
 (A)～(E)は次の領域を示す。(A)専門的基礎、(B)計画と分析、(C)設計と開発、(D)実施と評価、(E)管理。
 *日 は日本語版の重要度評価順位、英は英語版 (N=479~601) の重要度評価順位を示す。



We set the STANDARDS!

The International Board of Standards for Training, Performance and Instruction (ibstpi®) was founded as a not-for-profit corporation in 1984. ibstpi® has assembled a set of professionals of the highest repute from academia, private industry, military and government that represent diverse regions and cultures. ibstpi® is a leader in setting standards that help to improve individual and organizational performance by articulating and promoting the integrity of professional practice through research, development, definition of competencies and education.

Look who are all using
ibstpi® Competencies!



NEWS RELEASES

Sign up for the upcoming
ibstpi® Standards
Newsletter

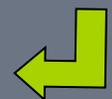


EVENTS



ibstpi®
workshops in Australia,
June 07

4



COPYRIGHT © 2006 IBSTPI® IS A REGISTERED TRADEMARK OF THE INTERNATIONAL BOARD OF STANDARDS FOR TRAINING, PERFORMANCE AND INSTRUCTION



JIRAH TECH © 2007

メインメニュー

ホーム

SimClubとは

最新ニュース

ニュース投稿

アーカイブ

ムービー配信

ニュースレター

SimTiki(Hawaii)とのコラボレーション

シミュレーションセンター紹介

資料ダウンロード

リンク集

サイトマップ

お問い合わせ・入会申込み

English Pages

日本医療教授システム学会



| RSS |

お知らせ：日本医療教授システム学会主催・講演会のお知らせ

投稿者: webmaster 投稿日時: 2008-08-05 17:04:58 (1687 ヒット)

演者:バーバラ・グラボウスキ博士(Barbara Grabowski)

(ペンシルベニア州立大学教授、ibstpi代表理事、下記info参照)

演題:「ibstpiの教育・研修担当者職務能力水準について」

日時:2008年8月20日水曜日 午後6時～午後7時30分 受付は午後5:30から

場所:国立国際医療センター研修センター5階大会議室<http://www.imcj.go.jp/>

参加費:無料

21世紀に通用する有能な人材育成(high performer)は国家的な課題です。従来の「教育」だけでこの課題を解決することはわが国で困難ですが、この壁を乗り越える次の一手はなかなか見えてきません。

Ibstpi(International Board of Standards for Training, Performance and Instruction ,
<http://www.ibstpi.org/>)

は「人材育成の科学的骨格」の世界標準を策定しているアカデミックかつ実践的な団体です。医療の領域では、アメリカ心臓協会が提供しているBLS/ACLS/PALSコースのインストラクターに、ibstpi策定のインストラクターコンピテンシーに基づくコア・インストラクター・コースの受講が義務付けられていることから、「人材育成の科学的骨格」の普遍的な有用性がうかがえます。

このたびibstpiのディレクターである鈴木克明教授(熊本大学大学院教授システム学専攻)にお世話いただき、バーバラ・グラボウスキ博士の講演が実現することになりました。21世紀に通用する人材育成・医療者養成という課題解決の糸口をつかむためにも、日本医療教授システム学会(JSISH, <http://www.asas.or.jp/jsish/index.html>)主催の当講演会にご出席いただくようご案内申し上げます。

Barbara Grabowski教授の自己紹介: Professor of Education in the Instructional Systems Program in the College of Education at the Pennsylvania State University. Prior to coming to Penn State, I was a designer, developer and evaluator for a distance delivery program for nuclear reactors operators:

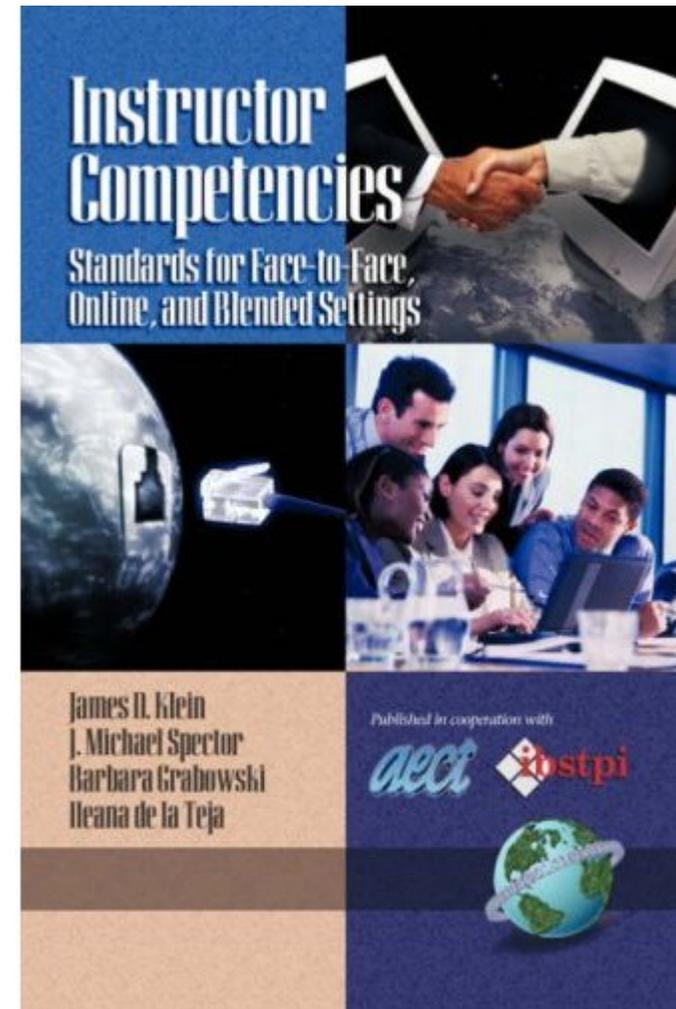
des
Ma <http://www.simclub.jp/modules/bulletin/article.php?storyid=31>



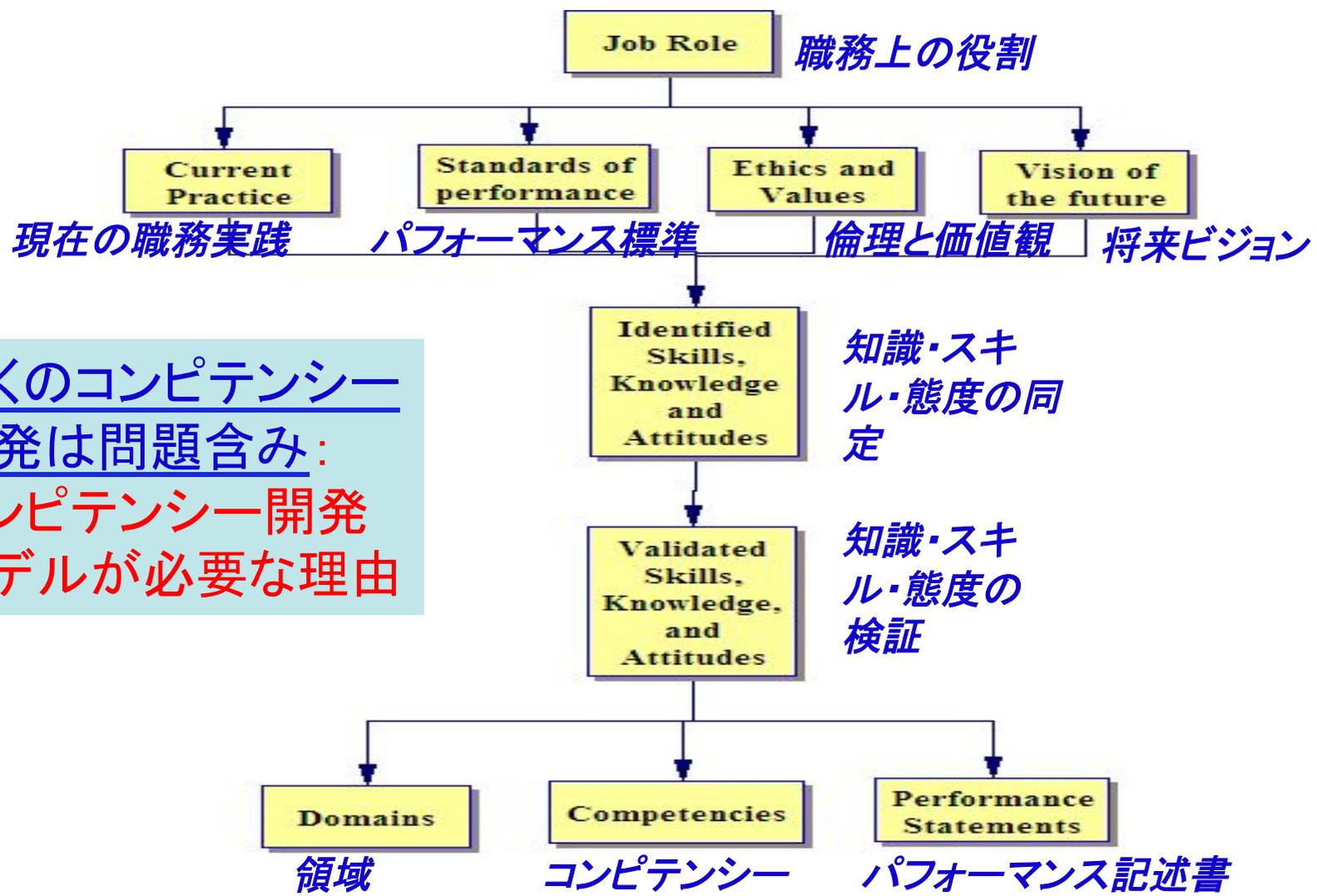
Current Publications

- ◆ Instructional Design Competencies: The Standards
IDコンピテンシー標準 (2000年第3版)
- ◆ Instructor Competencies: Standards for Face-to-Face, Online & Blended Settings
インストラクタコンピテンシー標準 (2004年第3版)
- ◆ Training Manager Competencies: The Standards
研修管理者コンピテンシー標準 (2003年第3版)
- ◆ Evaluator Competencies: The Standards
評価者コンピテンシー標準 (2008年第1版)

ibstpiの書籍



The ibstpi® Competency Development Model



多くのコンピテンシー開発は問題含み:
コンピテンシー開発モデルが必要な理由